年間授業計画　新様式

八王子北 高等学校　令和５年度（１・２学年用）教科 公民　　科目　公共

教　科：　公民　　科　目：　公共　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　2 学年　A　組～　E　組

教科担当者：（　A組：　）　（　B組：　）　（　C組：　）　（　D組：　）　（　E組：　）

使用教科書：（ 実教出版　公共　　）

教科　公民　　の目標：

【 知　識　及　び　技　能 】概念や理論、及び倫理、政治、経済などに関わる現代の諸課題について理解し、諸資料から様々な情報を適切に調べまとめる技能を身に

【思考力、判断力、表現力等】現代の諸課題について多面的・多角的に考察し、解決に向けて公正に判断する力や、実際の合意形成や社会参画に向けた議論する力を養

【学びに向かう力、人間性等】現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養い、人間としての望ましい在り方・生き方についての自覚を深める。

科目　公共　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
考察・選択・判断のための手掛かりとなる概念・理論を理解し，諸資料から必要な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。	現実社会の諸課題の解決に向けて，事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断するカや，合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。	よりよい社会の実現を視野に，現代社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに，各国が相互に主権を尊重し，各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	・働くことの意義と社会参加の意義を理解させる。 ・労働にまつわる望ましい社会のあり方と自己の生き方との関連について考察できる力を養う。	・指導事項 【倫理分野】 第１部 １章　職業生活と社会参加 ・教材…授業プリント、新聞記事等	【知】職業選択と自己の生き方を結び付けて考えることの重要性について理解している 【思】様々な雇用形態について考察している。 【態】職業や社会参加の意義を学び、社会に参画する自覚を深めようとしている	○	○	○	2
	・各時代の思想家の学びを通じて、自己を社会に参画する主体としての自覚をもつ。 ・幸福や正義についての学びを通じて、福祉のあり方など望ましい社会の在り方について考察する力を養う。	・指導事項 ２章人間としてよく生きる ３章他者とともに生きる ・教材…授業プリント、新聞記事等	【知】古代から現代の主要な哲学者・思想家の指導・立場を理解している 【思】自分自身を他者と協働し、公共的な空間を作る主体の一員であることを考察・表現できる 【態】公共的な空間における人間としてのあり方生き方についての自覚を深めようとしている。	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1
	・人間の尊厳と平等，個人の尊重，自由・権利と責任・義務など，公共的な空間における基本的原理について理解させる。 ・公共的な空間の在り方などを実現する際には個人の尊重，民主主義，法の支配など，公共的な空間における基本的原理が重視されることについて理解させる。	・指導事項 ４章　民主社会の倫理 【政治分野】 ５章　民主国家における基本原理 ・教材…授業プリント、新聞記事等	【知】人間の尊厳と平等，個人の尊重，自由・権利と責任・義務など，公共的な空間における基本的原理について理解している。また、民主政治が成立した経過と基本原理について理解している。 【思】社会契約説の形成や，自由権・社会権の保障が求められた歴史的背景について協働的に考察表現できる。 【態】公共的な空間における基本的な原理について理解しようとしている。	○	○	○	7
	・安全保障と防衛などに関わる現実社会の事柄や課題を基に，日本国憲法の平和主義について理解を深める。また、日本の防衛に関する基本的な事柄にも触れながら，変化する国際情勢の中で，日本の安全が世界の平和の維持といかに不可分に関連しているかについて理解させる。	・指導事項 第２部 １章　日本国憲法の基本的性格 ・教材…授業プリント、新聞記事等	【知】法や規範の意義及び役割などに関わる現実社会の事柄や課題を基に，憲法の下，適正な手続きに則って社会の秩序が形成，維持されていくことについて理解している。 【思】社会問題の解決に向けて事実を基に協働して考察したことを，論拠をもって表現している。 【態】法や規範の意義及び役割，我が国の安全保障と防	○	○	○	8
	定期考査			○	○	○	1
2学期	・政治参加と公正な世論の形成，地方自治などに関わる現実社会の事柄や課題を基に，よりよい社会は，憲法の下，個人が議論に参加し，意見や利害の対立状況を調整して合意を形成することなどを通して築かれるものであることについて理解させる。	２章　日本の政治機構と政治参加 ・教材…授業プリント、新聞記事等	【知】政治機構の仕組みや司法参加の意義について理解している。 【思】政治参加する主体として、具体的問題の解決にむけて考察したことを論拠をもって表現している。 【態】司法参加の意義，政治参加と公正な世論の形成，地方自治などの諸課題を主体的に解決しようとしてい	○	○	○	6
	・公正かつ自由な経済活動を行うことを通して資源の効率的な配分が図られること，市場経済システムを機能させ、国民福祉の向上に寄与する役割を政府などが担っていることについて理解させる。	【経済分野】 １章　現代の経済社会① ・教材…授業プリント、新聞記事等	【知】市場経済システムの機能や雇用・労働問題について正しく理解している。 【思】経済に関わる主体として、具体的問題の解決にむけて考察したことを論拠をもって表現している。 【態】雇用と労働問題，市場経済の機能と限界などに関わる現実社会の諸課題を主体的に解決しようとしてい	○	○	○	7
	定期考査			○	○		1
	・金融機関や金融市場の役割についての学びを通じて，様々な金融商品のリスクとリターンについて考える力を養う。 ・財政・租税の役割の学びを通じて政府の働きを知ることで納税者ならびに市民としての自覚を養う。 ・多様な契約及び消費者の権利と責任，職業選択，雇用と労働問題，少子高齢社会における社会保障の充実・安定化などに関わる現実社会の事柄や課題について自己の問題として捉え主体的に解決に向けて考察・表現させる。	１章　現代の経済社会② ・教材…授業プリント、新聞記事等 ２章　日本経済の特質と国民生活 ・教材…授業プリント、新聞記事等	【知】日本の金融システム、財政及び租税の役割について正しく理解している。 【思】財政・政治参加する主体として、具体的問題の解決にむけて考察したことを論拠をもって表現している。 【態】財政、とくに少子高齢化による社会保障費の増大にまつわる問題について、主体的に解決しようとしてい 【知】消費者の権利と責任など、経済活動と法規、権利との関わりについて正しく理解している。 【思】職業や消費など、生徒にとって身近な問題の解決にむけて考察したことを論拠をもって表現している。 【態】消費者問題、少子高齢化、雇用と労働問題など現実社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。	○ ○	○ ○	○ ○	5 7
	定期考査			○	○		1
3学期	・戦後の各国の情勢の変化を通じて、直近の日本内外の情勢について正しく理解させる。 ・安全保障と防衛，国際貢献を含む国際社会における日本の役割などに関わる現実社会の課題について考察・表現させる。	【国際分野】 １章　国際政治の動向と課題 ・教材…授業プリント、新聞記事等	【知】戦後の各国の情勢の変化を通じて、直近の日本内外の情勢について正しく理解している。 【思】国際政治に関わる主体として、具体的問題の解決にむけた考察を論拠をもって表現できる。 【態】我が国の安全保障と防衛，国際貢献を含む国際社会におけるの諸課題を主体的に解決しようとしている。	○	○	○	6
	・グローバル化の進展によって経済活動が世界的な規模で行われており，一国の経済活動が他国にも影響を与え、国際社会における貧困や格差が解消されていない状況が地球的な課題であることについて理解させる。	２章　国際経済の動向と課題 ・教材…授業プリント、新聞記事等	【知】貿易や為替など、国際的な経済の繋がりを正しく理解している。 【思】国際経済に関わる主体として、具体的問題の解決にむけた考察を論拠をもって表現できる。 【態】経済のグローバル化を通じた国際社会におけるの諸課題を主体的に解決しようとしている。	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1
	・地域の創造，よりよい国家・社会の構築及び平和で安定した国際社会の形成へ主体的に参画し，共に生きる社会を築くという観点から課題を見いだし，その課題の解決に向けて事実を基に協働して考察，構想し，妥当性や効果，実現可能性などを指標にして，論拠を基に自分の考えを説明，論述させる。	第３部 持続可能な社会づくりの主体となる私たち ・教材…授業プリント、新聞記事等	【知】倫理的、政治的、経済的分野の学びを基に、望ましい社会づくりの在り方について正しく理解している。 【思】現実の社会問題について探究的手法を用いて解決法を表現できる。 【態】持続可能な社会づくりの実現にむけた諸課題について主体的に解決しようとしている。	○	○	○	3 合計 70